

令和6年2月28日

文教厚生常任委員会  
委員長 綾城 美佳 様

文教厚生常任委員 中平 裕二

## 文教厚生常任委員会行政視察報告書

下記の日程で行政視察を実施しましたので、別紙のとおり報告します。

### 記

#### 1. 視察期日及び視察先

令和6年2月5日（月）

愛知県 蟹江町

「文化財保存活用地域計画について」

令和6年2月6日（火）

愛知県 小牧市

「窓口サービスについて」

#### 2. 視察参加名簿

委員長 綾城 美佳

副委員長 米弥 又由

委員 林 哲也

委員 岩藤 睦子

委員 中平 裕二

委員 上田 啓二

委員 江原 健二

委員 ひさなが 信也

以上8名

#### 3. 視察報告・所感 別紙

(別紙)

視察先	愛知県 蟹江町			
視察日時	令和 6 年 2 月 5 日 (月) 14:00~15:30			
視察項目	文化財保存活用地域計画について			
対応部署名	生涯学習課			
自治体概要	人口 (令和 5 年 12 月 1 日)	37,132 人	面積	11.09 km <sup>2</sup>
	蟹江町は、愛知県の西南部に位置し、東は名古屋市、北は津島市、あま市、西は愛西市、南は弥富市に接しています。町内には蟹江川・日光川・福田川が南北に流れ、それぞれが伊勢湾に注いでいます。行政総面積の 11.09 平方キロメートル全域が海拔 0 メートル地帯である本町は、大小の河川面積が総面積の 5 分の 1 を占める地域特性をもっています。			
視察内容				
生涯学習課より、文化財保存活用地域計画について説明を受ける。始まりは平成 28 年スナリ祭りのユネスコ登録で、令和 2 年に着手し令和 4 年度に文化財保存活用地域計画的を策定した。文化財所有者・伝統芸能継承者等と良好な関係性が出来、住民の意識向上にも効果が、観光との連携も上手くいっていると説明を受けました。				
所 感				
蟹江町生涯学習課の職員の方々の熱意のある、文化財保存の取り組みに感心しました、声だけ出した対応では、文化財所有者・継承者等とも良好な関係性はできません。また、文化財とは蟹江町の河川に関わる物 (古い揚水用ポンプ等) . 料理、方言、祭りの道具、そして今は無くなった物等まで、蟹江町の文化財としていると説明を受けました。 我が長門市も、文化財保存活用計画を策定して、特に無形文化財 (神楽やお囃子) の保護継承に取り組んで欲しい。				

(別紙)

視察先	愛知県 小牧市			
視察日時	令和 6 年 2 月 6 日 (火) 9 : 00 ~ 10 : 30			
視察項目	窓口サービスについて			
対応部署名	市民窓口課			
自治体概要	人口 (令和 5 年 12 月 1 日)	149,884 人	面積	62.81 km <sup>2</sup>
	小牧市は、名古屋市の北方約 15 キロメートル、濃尾平野のほぼ中心に位置し、市域面積は 62.81 平方キロメートルです。昭和 30 年 (1955 年) 1 月 1 日、小牧町、味噌岡村、篠岡村の 3 町村が合併し、人口約 3 万 2 千人、県下 21 番目の市として誕生。昭和 38 年 (1963 年) には北里村と合併して、現在の市の規模となりました。			
視察内容				
小牧市市民窓口課職員に、こまきスマート窓口について、市民窓口業務の業務委託に関して業務委託先との関係性、個人情報漏洩防止等、契約年数、契約方法の説明を受けました。遺族の行政手続きが一つの場所で行えるおくコーナーの開設に至る経緯と市民の反応合も説明を受けました。最後に窓口のバリアフリーの説明を受けました。				
所 感				
小牧市市民窓口課の職員さんの、窓口業務のスマート化に対する意識・見識の高さに驚きました。伊藤課長は民間から、市役所職員になられた方で、窓口業務の改善に向けて、窓口の行革先進地の兵庫県三田市他にも視察に行き参考にして、今のこまきスマート窓口をまとめあげたのだと思いました。窓口のバリアフリーについては、手話の専門家はいないが、職員に手話通訳ができる方がいたり、英語、スペイン語、ポルトガル語、フィリピン語が話せ通訳出来る職員の方がいるので、自然に取り組んでいますとの事でした。我が長門市も、市役所窓口のスマート化に今年度から取り組みを始めるので、長門市市民に喜ばれる施策になるよう努力して欲しい。				